

# 第1回「北極に関する日中韓ハイレベル対話」概要

2016年6月  
外務省海上安全保障政策室

- 本会合は、昨年11月に開催された日中韓サミットの機会に発出された「北東アジアにおける平和と協力のための共同宣言」において、韓国側の提案により立ち上げられたもの。北極問題の地球規模での重要性に鑑み、日中韓協力の可能性を追求すること等を目的とする。**3カ国の北極担当大使級がヘッドを務め、関連研究機関所属研究者も参加するトラック1.5の会合。**
- 今次会合では、各国が自国の北極政策を紹介し、北極に関する今後の日中韓協力の可能性について意見交換。**白石大使からは、「我が国の北極政策」を紹介するとともに、同政策に基づき、我が国の強みである科学技術を活用しながら、北極をめぐる諸課題に対処する国際社会の努力に貢献していく旨発言。**
- 今次会合後に発出された共同プレスリリース(別添)では、北極観測・研究における日中韓協力の深化を追求する旨、また、北極評議会(AC)を含めた国際的なフォーラムに貢献していく旨等が確認された。
- 我が国からの提案により、**第2回会合は我が国で開催**することが決定された。



## 【「北東アジアにおける平和と協力のための共同宣言」(2015年11月1日)抜粋】

北極問題の地球規模での重要性を認識しつつ、我々は、「北極に関する日中韓ハイレベル対話」を立ち上げ、北極政策を共有し、協力案件を追求し、北極に関する協力を深化させる方法を模索する。

## 第1回北極に関する日中韓ハイレベル対話

## 共同プレスリリース（仮訳）

1. 2016年4月28日、キム・チャンウ大韓民国北極担当大使、白石和子北極担当大使及び馬新民（マ・シンミン）中華人民共和国外交部条約法律司副司長は、北極に関する第1回日中韓ハイレベル対話に出席するため、ソウルに参集した。
2. 3か国の代表は、韓国のソウルにて第1回日中韓ハイレベル対話が開催されたことを歓迎し、この対話が3か国の北極に関する協力を強化する手段を探求するための土台となることに期待を表明した。また、3か国の代表は、各国首脳が2015年11月1日の「北東アジアにおける平和と協力に関する共同宣言」に託したマンデートに従い、3か国が科学調査を含む様々な分野における北極協力を発展させることに期待を表明した。
3. 3か国の代表は、国際協力、科学調査及びビジネス機会等の分野における各国の北極政策及び活動を紹介し、北極圏が挑戦と機会の地域であるという見解を共有した。
4. 3か国の代表は、北極に関する日中韓協力における指針について議論し、3か国が北極評議会に対する貢献へのコミットメントを継続し、様々な国際的フォーラムにおける協力を強化するべきであるとの見解を共有した。3か国の代表は、科学調査のような分野における協力の可能性を探究した。
5. 3か国の代表は、具体的な北極協力に関し、科学調査が共同活動の最も有望な分野であり、この分野における日中韓協力に係る活動が奨励される必要があるとの見解を共有した。3か国の代表者は、3か国が創造的な方法で協働できる協力案件を確認し続けることを決定した。
6. 3か国の代表は、北極に関する日中韓ハイレベル対話が、3か国が北極について継続的に協力をする意志を維持するための重要な取組であることを再認識した。3か国の代表は、2015年11月1日の第6回日中韓サミットのフォローアップの実施の進展に、これらの成果を適切に統合する努力をすることを決定した。3か国の代表は、適切なチャネルを通じ、この対話における議論を北極評議会に報告することを決定した。
7. 日本は、第2回北極に関する日中韓ハイレベル対話を日本でホストすることを提案し、中華人民共和国及び大韓民国は、この提案を歓迎した。

（了）